

平成 28 年度第 2 回京都市図書館協議会摘録

○日 時：平成 29 年 3 月 6 日（月）

午後 3 時 30 分～5 時

○場 所：京都市生涯学習総合センター（京都アスニー） 第 2 研修室 B

○出席委員：[10 名中 7 名出席]

岩崎 れい 委員

北村 哲夫 委員

角谷 真子 委員

永田 信一 委員

西川恵理奈 委員

福井 雄大 委員

松田 晋 委員 （五十音順）

○傍 聴 者：0 名

1 開会

（1）開会の挨拶

2 報告事項

事務局から資料に基づき以下の項目について報告した。

（1）平成 28 年度読書活動推進事業について

ア 平成 28 年度「子ども読書の日」記念事業

「一緒に読むともっと楽しい」をテーマに、28 年度は、乳幼児とその保護者を対象とした取組に力を入れ、4 つの中央館において、「赤ちゃんといっしょ！～赤ちゃん絵本の会～」というわらべうたや手遊びなどを中心とした赤ちゃん行事を京都市子ども文庫連絡会と連携して実施した。また、地域図書館でも赤ちゃんを対象とした定例行事を行っている。

また、ティーンズ層への取組を引き続き行っており、今年度は初めて 4 つの中央館で「ビブリオバトル ティーンズ大会」の予選を行うことができた。予選を勝ちあがってきた発表者が中央図書館で 4 月 24 日に決勝戦を行い、非常に盛り上がった。今後は地域図書館も含めて、京都市図書館全体で取り組んでいけないかと模索している。

また、28 年度初めて「子どもの本のブックリサイクル」を実施した。27 年度から実施しているブックリサイクルの子どもバージョン。4 月 17 日の午前 9 時 30

分から行い、30分後には100冊以上の本が譲渡された。

最後に各図書館において、京都市文庫連絡会やPTAの方々との協力を得て、おたのしみ会を実施した。

イ 平成28年度読書週間記念事業について

秋の読書週間に合わせて事業を実施しており、あらゆる世代の人たちが対象。

本年度はまず、異世代交流編としてのビブリオバトルを開催。4つの中央館でそれぞれティーンズ、大学生、一般と分けて予選を実施し、各会場において予選を勝ち上がってきた人たちで決勝を行った。発表者からの意見として、本を介して全く異なる年代の人たちと交流でき、面白かったというものがあり、京都市図書館としても引き続き行っていきたいと考えている。

続いて、「児童文学作家 くすのきしげのり 氏 講演会」を京都市子ども文庫連絡会と合同で開催。118名の保護者や学校関係者等に参加いただいた。

続いて、「読書絵はがき展」については、57の小学校、総合支援学校、保育所(園)、幼稚園から732点の応募があった。

また、京都市生涯学習振興財団に所属する134名の司書が自分の薦める本を紹介する「京都市図書館 司書のイチオシ」という事業を実施。大きな模造紙に印刷して各館で張り出すとともに、図書館のホームページに掲載している。

(2) 平成29年度子ども読書の日記念事業について

これまでは4月23日の子ども読書の日を中心に約10日間程度の期間で事業を実施してきたが、平成29年度は期間を延ばし、4月1日から30日までの1か月間を子ども読書月間として設定。テーマは28年度と同様に「一緒に読むともっと楽しい」としている。

ア 0歳からの絵本コンサート

京都市図書館と京都市立京都堀川音楽高等学校との連携として、「0歳からの絵本コンサート」を実施する。4つの中央図書館において平成29年4月22日にコンサートを開催する。2～3名の生徒が各館に行き、図書館司書と連携して、音楽演奏と絵本の読み聞かせや手遊びなどを行う。

イ 第3回ビブリオバトルティーンズ大会

29年度も、28年度と同様に、4つの中央館でビブリオバトルティーンズ大会の予選を行い、予選を勝ち上がった発表者が平成29年4月23日に中央図書館において決勝戦を行う。

ウ 子どもの本のブックリサイクル

28年度と同様に、中央図書館前ピロティにおいて、平成29年4月23日に「子どもの本のブックリサイクル」を実施する。今回は絵本を中心に提供できるよう、4つの中央館の協力を得て、絵本を収集している。

エ おたのしみ会など

29年度も全館でおたのしみ会を行うとともに、本のもりのコーナーを設置する。

(3) 京都市図書館の平成28年度の取組状況について

ア 図書館設備の改修等

トイレの洋式化，児童コーナーの整備を実施。トイレの洋式化に関して，28年度は西京図書館，向島図書館及び久我のもり図書館で実施。児童コーナーの整備に関して，28年度は山科図書館及び洛西図書館で実施。

その他，利便性や安全性の向上に関する主な改修として，中央図書館のアシストルームの整備，醍醐中央図書館のAV視聴ブースの回収，岩倉図書館の閲覧室証明の増設・改修，向島図書館の点字シートの増設・改修などを行った。

イ 出前事業専用車両「青い鳥号」の利用状況

29年2月末までの利用状況は，94回。

ウ 隣接自治体との相互利用

平成28年4月から，市域が隣接し古くからの地域的つながりの深い宇治市及び大津市と連携し，図書館利用者の利便性向上の取組として，図書館相互利用サービスを実施。

エ 移動図書館「こじか号」の更新

平成14年4月から運用を開始した現在の「こじか号」については，走行距離が10万kmを超え，車両も老朽化が進んでいるため，新車両への更新を行う。車のサイズや積載冊数は現在のもと同程度。車体に京都市立銅駝美術工芸高等学校の生徒さんによるイラストをプリントする。平成29年3月24日から新車両で巡回を行う予定。

オ サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）の利用状況

7月からサービスを開始し，サピエからのダウンロードは増えている。

カ ブックリサイクルの状況について

平成27年10月から全館において，古くなった本や保存期間が過ぎた雑誌などを，図書館を利用される個人の方々へ無償で譲渡する「ブックリサイクル」を年3回（1月，6月，10月）実施。

(4) 平成29年度新規事業等について

ア 木のぬくもりのある図書館づくり

京都府の「豊かな森を育てる府民税市町村交付金」を活用し，木のぬくもりを感じながら快適に読書ができる空間の整備を図る。

整備内容は，岩倉図書館の敷地内の庭園部分に設置されている老朽化した既設のウッドデッキ及びベンチの改修・設置と，山科図書館のベランダテラスに設置

されている老朽化して使用禁止になっているベンチの改修。

イ 京都市立芸術大学との連携事業

京都市立芸術大学附属図書館及び日本伝統音楽研究センター図書室と京都市図書館が連携し、所蔵する図書資料の相互貸借と、市図書館が運行するブックメール便による配送を行うことで、相互の利用者の利便性の向上と図書館の利用促進を図る。平成 29 年 4 月から実施予定。

ウ 府内図書館との相互貸借事業の充実

京都府立図書館の相互貸借連絡車（週 1 回巡回）に代わり、京都市図書館のブックメール便が府立図書館に巡回することで、配送回数を増やし（週 5 回巡回）、利用者の利便性の向上と作業の効率化を図る。平成 29 年 4 月から実施予定。

エ 4 中央図書館における土曜夜間開館の試行実施

今年度 5 月から 8 月の間、4 中央図書館における土曜日の開館時間を午後 7 時まで試行的に延長したところ利用者から高い評価をいただいた反面、実施時期について 9 月までを希望される声が多くあったことを受け、29 年度については、実施期間を 6 月から 9 月の間に変更して再度試行実施を行う。

オ 駅等への図書返却ポストの設置

図書館に立ち寄ることなく本の返却をしていただける「図書返却ポスト」の駅等へ設置を進める。

カ 京都市図書館ネットワークシステムの更新

現在のネットワークシステムが平成 30 年 1 月末にリース期限を迎えるため、新システムに更新を行い、2 月から運用を開始する。

新システムでは、今まで以上に処理速度の高速化や安定化を図るとともに、ホームページのリニューアルや右京中央図書館の電子メディアゾーン座席処理システムの導入などにもあわせて取り組むことで、利便性の更なる向上を目指す。

3 報告事項に関する質疑応答

意見： 0 歳からの絵本コンサートは児童コーナーで行うのか

回答： 各図書館によって、児童コーナーで行う館もあれば、別室で行う館もある。詳細は現在調整中。

意見： 読書絵はがき展は、いつから実施しているのか。

回答： 平成 14 年度から。

意見： 駅等の返却ポストの利用数が想像以上に多かったので、もっと増やして欲しい。利便性の向上に繋がる。

回答： 駅等への返却ポストの設置は、物理的な制約等もあるが、多くの方々が通る場所、返却しやすい場所に設置していきたいと考えている。

意見： ビブリオバトルの参加人数は何人くらいを想定しているのか。もっと増やした

いと考えているのか。28年度程度の人数でいいと考えているのか。

回答： 会場のスペースの問題もあるが、図書館で実施することに意味があると考えていることから、図書館で実施できる程度の参加人数、90～100人程度を想定している。もっと増える場合は、また他の方法を検討したいと考えている。

意見： 施設の改修について、トイレの洋式化が図られたのは喜ばしいが、洋式にした分、個室のスペースが狭くなって、使用しづらくなった部分もある。施設全体のスペースのこともあるので難しい部分もあると思うが、今後改修を行うに当たり、狭いなどの使用しやすさなども考慮していただけるとありがたい。子どもたちは問題ないと思うが、大人、特に高齢者にとっては使用しづらいところもあるので。

また読み聞かせに関して、大人やシニアを対象とした読み聞かせがあればありがたい。

回答： シニア対象の事業を行うことを検討している館もある。実際に、認知症の方々を対象にした事業を行っている病院に図書館司書が出向いて、読み聞かせ等を行ったりもしている。今後検討していきたい。

意見： ビブリオバトルの異世代交流は非常に大事。読書は同じ世代にしか広がらない側面もあるが、大人が子どもの本を読んで面白いと思ひ、子どもが大人の本を読んで面白いと思うこともあるので、色々な形で異世代交流ができればと考えている。高校生による絵本コンサートも異世代交流の一種。

意見： サピエの利用状況に関して、27年度から28年度にかけて登録者数が減少しているにも関わらず、利用回数や貸出巻数が増加している理由は。

回答： サピエの利用によるもの。27年度はサピエに加入していなかったため。サピエは話題の本がダウンロードできるので、利用が伸びたと考えている。登録者を増やすために、もっとアピールしていきたいと考えている。

4 協議事項

＜事務局から協議事項について説明＞

(1) 図書館の魅力向上について

前回の協議会でも提案されていたものを中心に説明する。

ア ホームページでの情報提供・広報について

29年度に図書館システムの更新を予定しており、あわせてホームページのリニューアルの検討も進めていきたいと考えている。

イ 返却期限の再延長等

図書の返却期限の延長を2回まで認め、また延滞を含む返却の図書資料について希望者には引き続いて貸出を行ってはどうかという意見を受け、検討を進めているが、他の政令指定都市を調べてみると、全ての都市は延長が1回までであった。また、同一人物が貸出延長や引き続きの貸出を繰り返すことで他の利用者の

利用に支障をきたすなどの懸念もあり、様々な場合を想定し、課題の整理を行っていく。延長回数を増やすことについては、システムの変更を要するため、新システムへの更新の状況等を確認しながら検討を進めていく。

ウ 図書館カード不携帯者への貸出

京都市図書館では図書館カードの提示がない場合、図書資料等の貸出は行っておらず、写真付の身分証明書などもカードの代わりとしていないことから、カードを忘れた場合にも、何らかの形で貸出をしてはどうかという意見があり、その中で忘れにくいカードにしてはどうかという議論もあったことから、現在の図書館カード以外の形態、例えばキーホルダー型や保険証等へのバーコード貼付、スマホアプリ等について、費用対効果も含めて研究していきたいと考えている。

5 協議事項に関する質疑応答

意見： 図書館に学生に足を運んでもらうためには、館内で学習できるスペースがあるといいのではないか。中央図書館ではアスニーがあり、右京中央図書館には研修室があり、それぞれ学習のため開放してもらっているが、そこにティーンズ向けの本を展示したりすると、勉強の合間に本を読んだりするのではないか。足を運んでもらうための一つの策として考えてみてはどうか。

回答： スペースの問題や他の利用者の方が閲覧席を使用できないという問題もあり、大変難しい部分もあるが、研究していきたい。現在は、青少年活動センターなどを活用しているようだ。

意見： 図書館ネットワークの更新において、どのようなことを可能にしようとしているのか。

回答： ホームページを充実し、使いやすいものにしていきたいと考えている。また右京中央図書館の電子メディアゾーンの予約システムの構築を進めていきたいと考えている。システム自体の安定性の向上も図っていきたい。

意見： 検索システムの変更はないのか。パソコン用やスマホ用などを設定するのか。

回答： 大きな変更はないが、パソコン用やスマホ用の画面などは作っていきたいと考えている。

意見： 読書絵はがき展に関して、学校ごとに提出数を制限する理由は何か。

回答： 図書館のスペースの問題がある。図書館に来ていただきたいという思いがあり、また図書館で実施することに意味があるという市民の方の意見もあったことから、図書館で展示を実施している。

意見： どのように展示しているのか。

回答： 学校・学年ごとに展示している。

意見： 書架にある実際の本と組み合わせで展示できればいいのではないか。

回答： 紹介された本の一部をミニ展示として展示している館もある。

意見： 大学・専門家との連携について、どのように情報発信を行っているのか。

回答： 各図書館での情報発信，ホームページや市民しんぶん，京都新聞のまちかど欄などに掲載して広報を行っている。

意見： 講師の方や専門家の方にも広報や情報発信のお手伝いをしてもらうのもいいのではないか。

回答： 大学の取組として実施しているものは，大学のホームページでも情報発信してもらっているが，個人的に先生に来てもらっている場合はそうならない場合もあるので，参考にしていきたい。

意見： 大学コンソーシアムなども利用するのも一つの手段だと思う。

意見： 図書館司書にどこまで相談していいか，その範囲がわからない。本や貸出に関することだけなのか。不安に思っておられる方もいるので。

回答： 図書館にはレファレンス機能がある。人生相談や医療関係などはお答えしないと一般的に言っているが，きっかけとして，自分が調べたいことで調べ方がわからない時は，まずは司書に聞いていただければと考えている。最終的に自分で調べていただくこととなるが，司書はそのお手伝いを行うことができるので，最初の一歩として司書に相談していただければと考えている。

意見： 図書館に足を運ぶために，興味の入りになるようなものが図書館からもらえるとありがたい。

意見： 本のもりが縦長なので，ハンドバックに入る大きさにしてもらえるとありがたい。お母さん方がバッグに入れて図書館や本屋に行くこともあると思われるので。

意見： 委員として参加させてもらい，いい経験となった。図書館関係者が一生懸命仕事をしていることを実感できた。

意見： 委員として参加させてもらい，できないなりに何ができるかを考え，少しずつ詰めていくのが図書館の仕事なのだと思感した。また，図書館のハード面の改修などが形となってあらわれることを目の当たりにできた。

意見をいただいたので，できるところから，少しずつであるが実現していきたい。